

日本サウンドスケープ協会誌『サウンドスケープ』
執筆要領

1. 基本事項

原稿は、日本語もしくは英語で書いてください。原稿は協会のホームページに掲載している執筆見本の書式に従って、図表を含むPDF形式の原稿を電子媒体で提出してください。なお、掲載決定後に編集のために Word 形式等の原稿の提出を求める場合があります。

2. 分量

原稿の最大分量は以下の通りです。ただし、出版委員会が必要と認めるときはこの限りではありません。

- ・「論文」：指定書式で 20 ページ以内
- ・「記事」：指定書式で 12 ページ以内

3. 提出方法

原稿は所定のメールアドレス宛に電子ファイルで提出してください。投稿に際しては、所定の様式により以下の情報を提出してください。

- ・原稿種別：査読論文、一般論文、記事
- ・原稿タイトル
- ・著者氏名、所属、連絡先（メールアドレス、電話番号）

4. 表題等

原稿には以下の情報を含めてください。

- ・論文：表題（和・英）、著者名（和・英）、所属機関名（和・英）、要旨（和・英）、キーワード（和・英、それぞれ5語前後）
- ・記事：表題（和・英）、著者名（和・英）、所属機関名（和・英）

5. 註および引用文献

文末に註を記載します。本文中の該当個所に番号をつけてください。文末註には番号順に註を列挙します。

引用文献、参考文献は註として扱います。文献の出典情報は以下の書式で記載してください。

◆雑誌の場合 全著者名：表題、雑誌名、巻（号）、頁一頁、年号。

1) 笛吹童子、静御前：鎌倉・戦国時代の音楽、桃山文化、12（3）、45-67、1598.

2) K. Star: The damage risk criteria for keeping silence in USA, Amer J Sound Vib, 6(9), 1-11, 1998. (略称した雑誌名は、The American Journal of Sound of Vibrator です。ただし架空)

3) 前掲 1) p.48.

◆図書の場合 全著者名：『表題』（出版社、地名、年号）頁一頁

- 4) 金城桃治：『琉球列島の音風景』（八重山書店、石垣、1990）26-39.
- 5) R. Carson: *Silent spring*, (Fawcett Books, Greenwich,1962)22-33.
 - ・ 翻訳の場合 全著者名（訳者）：『表題』（出版社、地名、年号）頁一頁.
- 6) M. ルインスキー（星憲司訳）：『ワシントン広場の声』（白亜社、東京、1999）287 頁。
（原題をつけるなら M. Lewinsky: *How to be an intern* (White House Pub., NY, 1998)
- ◆ 分担執筆の一部を引用するとき 全著者名：表題. 編者（あれば）『表題』（出版社、地名、年号）頁一頁所収.
- 7) 徳川慶喜、西郷隆盛：蛤御門の変における砲撃音の周波数分析. 桂小五郎編『音でとらえる明治維新』（江戸屋書房、大阪、1880）44-55 頁所収。
 - ・ 孫引きのとき 原著者名：表題, 雑誌名, 巻（号）, 頁一頁, 年号.（執筆者があたった文献の）著者『表題』（出版社、地名、年号）頁一頁に引用.
- 8) K. Hiramatsu: *Nordic soundscape as encountered by a Japanese*, *Skandinaviska Musikaliska Tidskrift*, 158, 77-88, 1989. 中河 真『平城京 音の曼荼羅』（十津川出版、奈良、1999）88 頁に引用.
- 9) R.M. Schafer: *Quantum theory of soundscape* (DDT Inc., Toronto, 1984) Cited in A. Einstein: *Quantum physics* (PCB Press, London, 1989) p.22.

6. 著作権

原稿作成にあたっては、他人の著作権を侵害することのないよう格段の注意をはらってください。本誌は電子的に出版されます。世界中から剽窃のチェックをすることが可能ですので、文章、図表等の著作権に侵害があれば、大きな、事と次第では致命的な、問題を起こす可能性があります。くれぐれもご注意ください。既発表の文章を転載するときは、著者自身のものかどうかにかかわらず、引用文献をつけてください。